

# JAL SKY MUSEUM



デジタル年表 | 1950年代から2010年代までのJALの航空文化史を深掘り | 空のトリアビタ | 入館パスをかざすと空のお仕事知識が表示されます



展示ゾーン | 稀少なノベルティグッズの現物や12機のモデルプレーンを展示



コックピット | JTA737のフライトシミュレーターの一部を移設しています



スカイランウェイ | この滑走路、実は羽田の滑走路に並行して敷かれています



制服展示 | 歴代制服がずらり。展示ケースは背面もガラス張りになりました

## JALスカイミュージアムのご案内



ミュージアム体験(60分)と格納庫見学(50分)を組み合わせた無償のツアーを実施しています。予約は左記Webサイトにて、ご見学日1か月前の同日9:30から受け付けとなります。また、土日を中心にウェビナー形式での「リモート工場見学」も実施中です。



動画でもこの取り組みの詳細をご覧ください。www.jal.com/ja/jal-group-spirit/220715/



2015年9月、全国連加盟国(193カ国)により「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会の課題解決に取り組んでいきます。



フューチャーゾーン | さまざまな分野におけるJALの挑戦を大画面でご紹介

デジタルコンテンツを駆使し航空の歴史と未来を伝える

空のお仕事をもっと身近に

新生JALスカイミュージアム

JALが東京・羽田で一般公開している見学施設「JALスカイミュージアム」は、空の仕事やJALの歴史に触れ、本物の航空機を間近で見ることができるところです。2021年7月に展示エリアを一新し、航空の未来も感じられるような内容に生まれ変わりました。すべてのお客さまに開かれた「JAL空育®」の舞台として、アクセシビリティを重視。車いすをご利用の方やお子さまが覗き込みやすい陳列ケースの設計、当たりの柔らかい床材の導入など、工夫を凝らした新たな空間にお客さまをお迎えしています。

今回のリニューアルの大きなポイントは、展示内容のデジタル化です。滑走路を模した「スカイランウェイ」に大型マルチディスプレイを設置し、運航・客室・整備・空港・グランドハンドリングの現役社員が日々の仕事について、画面を通じてご説明します。未来の仲間語りかけられるような声に、耳を傾けてみてください。また、「アーカイブズゾーン」のデジタル年表は、10年代ごとにタッチパネルで内容を深掘りできる仕掛けに。「フューチャーゾーン」では、「環境」「テクノロジー」などの分野における未来に向けた取り組みを紹介し、デジタルコンテンツを定期的にアップデートしていきます。今後は、JALさらエコ教室やJAL折り紙ヒコキ教室、他社とのパートナーシップによる教育講座の実施など、新たな学びと集いの場としてもJALスカイミュージアムを活用していく予定です。どうぞご期待ください。

今回のテーマに該当する目標

